

宇治支援学校高等部 1年生 3年ぶり ぽっぽガーデンへ 公社有志らと交流深める



さあ心を込めて土づくりに励みましょう

宇治市福祉サービス
公社が花壇整備を進め
る中宇治ぽっぽガーデ
ン＝宇治市宇治壱番＝
で、地域貢献を掲げる
府立宇治支援学校(細
矢義伸校長)＝広野町
丸山＝の高等部くら
職業コース1年生18人

(各日9人)が、土づ
くりと色鮮やかな花苗
植栽に爽やかな汗を流
した。
宇治壱番の交差点に
ある三角パークでは、
同公社の有志でつくる
ガーデンングクラブが
約15平方メートルの花壇を日

ごろ維持・管理してい
る。
同校の生徒たちは2
014年、荒地を掘り
起こし整備を進めた。
それ以来、毎年6・
12月に花苗を植栽して
きたが、コロナ禍で現
地作業はしばらく途絶
え、この間は校内で手
塩に掛けて育ててきた。
生活単元学習の一環
となる先輩から続く取

り組みの精神を受け継
ぐ生徒たち。
3年ぶりとなる現地
作業は2日間に分け、
「ぽっぽガーデンをき
れいにしよう！」の掛
け声のもと、初日は雑
草が目立つ敷地で生徒
たちはガーデンポラン
ティア3人と阪東美可
子さんから職員と力を合
わせ、土起こしと整
地、除草に励んだ。

続く2日目は時折雨
が降る天候も何の合羽
を羽織った生徒たちは
ポランティア2人と久
しぶりに会話を弾ま
せ、交流を深め、色鮮
やかな苗を植え付け
た。

初日参加の藤森大地
さんは「土を耕すのは
初めて。とても貴重な
体験ができた」、坂口
翔大(しょうた)さん
は「すく土が硬かつ
たけれども、ポランテ
ィアさんが助けてくれ
てやりやすい。雑草取
りは大変だが、きれい
になった」、花を植え
た北川真菜美さんは
「地域貢献を目標に、
とても素敵な花壇を作
ることができた」と笑
顔をあふれさせた。

生徒たちは、地域貢
献の活動を通じた学び
を壁新聞にまとめ、公
社まで届けるという。
(先月14、15日)

総合建設業
株 南山建設
075
(631)
3987



ポランティアと肩を並べてや
さしく花苗を植え付けた生徒